

総務文教常任委員会審査日程

日 時 令和5年4月7日（金）

午前9時30分

場 所 第1委員会室

審査内容

- 1 所管事務調査 地域運営組織推進事業について
- 2 所管事務調査 集落支援員設置事業について

地域運営組織について

地域運営組織について

- 1 地域づくりの現状と課題
- 2 地域運営組織について
- 3 多くの皆さんでの話し合い
(地区の皆さんへのお願い)
- 4 行政の支援体制

住み慣れた地域で暮らし続けるため ～地域運営組織（RMO）の形成の方向性～

- 本市では、現在、自治会をはじめとする地域団体、市民活動団体、各種ボランティアの皆様の活動が活発です。
- 一方で、各地域の特性により直面している地域課題は多様化・複雑化しています。
（少子化、高齢化、担い手不足、空き家、域内交通、買い物難民、健康寿命の延伸など）
- 住み慣れた地域で暮らし続けていくため、10年先、20年先も持続可能な地域づくりの仕組みを考えていくことが必要です。
- 市では、市民の皆様がこれからも住み慣れた地域で暮らし続けるために、「地域運営組織」の設立、運営を進めています。



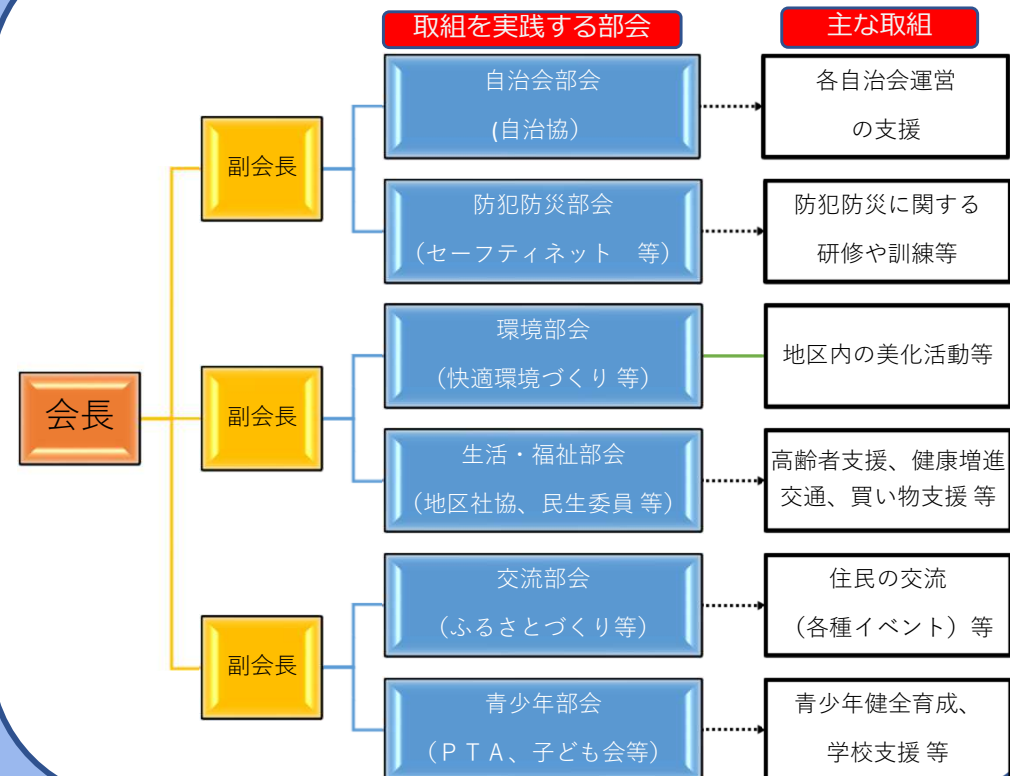
地域運営組織とは

「地域運営組織」は、地域で暮らす様々な人々が中心となって、地域の様々な団体や人が話し合いの下、それぞれの役割を明確にしながら、地域の課題に向けた取組を持続的に実践する組織のことで、日本全国でも地域運営組織の形成が広がっています。

地域運営組織の特徴

- 地域運営組織が地域の代表的組織となることにより
 - ・地域自らが地域の実情に合った取組ができます。
 - ・地区と行政が協創のパートナーとなります。
- 地域運営組織に多くの主体が参画することにより
 - ・新たな地域の担い手の発掘や育成ができます。
 - ・1人の方の負担が軽減されます。
 - ・地域づくりの新たなアイデアが生まれます。

地域運営組織形成のイメージ（一体型のケース）



1 地域づくりの現状と課題

山陽小野田市の地域づくりの状況

地域自治活動

- 地区自治会協議会

防犯・防災

- セーフティネットワーク

環境美化、環境衛生

- 快適環境づくり推進協議会

地域交流

- ふるさとづくり推進協議会

地域福祉の増進

- 地区社会福祉協議会
- 民生児童委員協議会

青少年健全育成

- PTA・子ども会
- コミスク・地域学校協働活動

男女共同参画社会の推進

- 女性団体連絡協議会
- 校区女性会

などなど

地域の課題の多様化・複雑化

高齢化

少子化

防災

防犯

環境

子育て

交通
(買い物、通院)

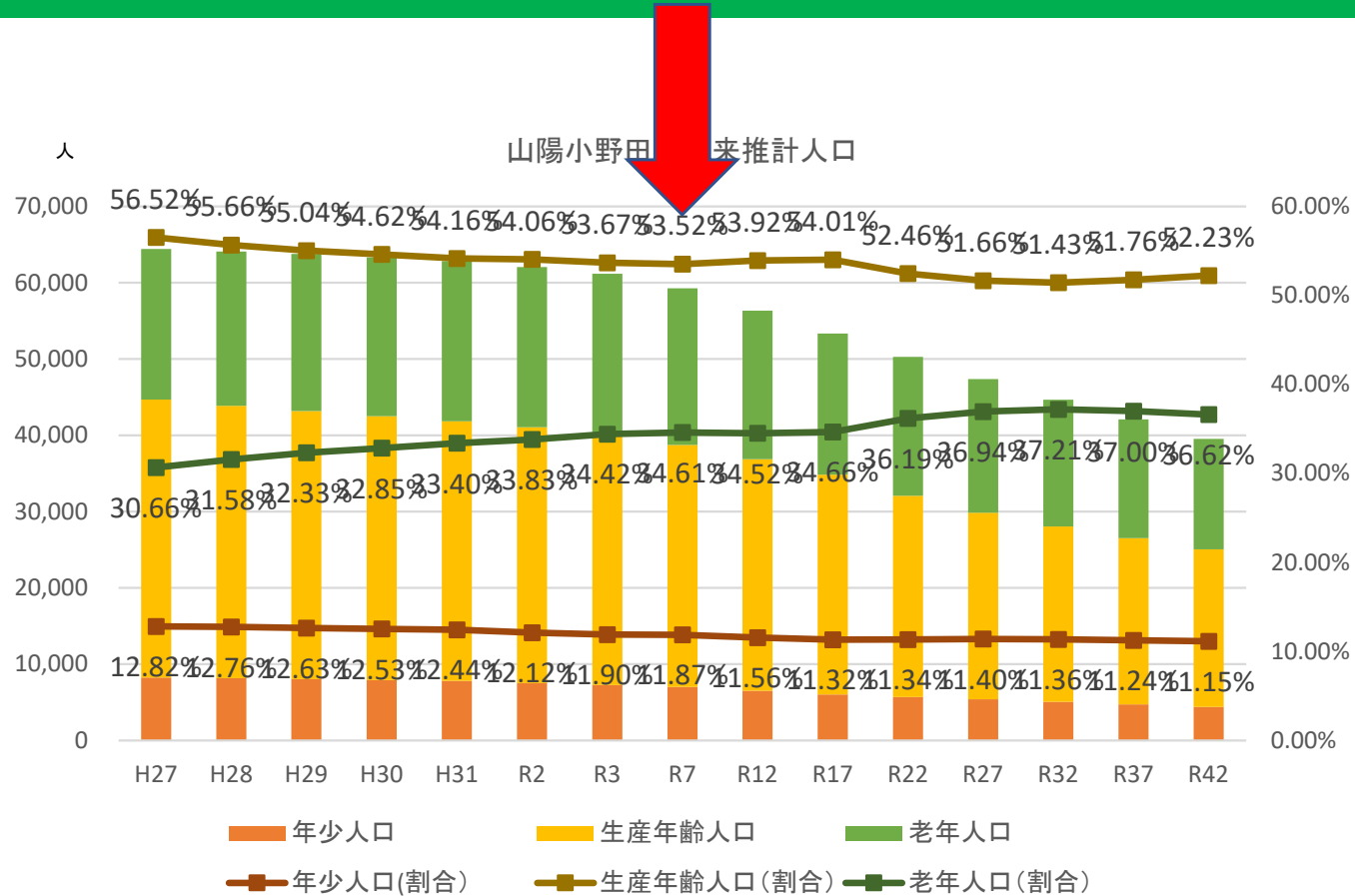
健康寿命の延
伸

空き家

外国人

などなど

山陽小野田市の人口減少



近年中に
60,000
人を
割る!?

地域と市役所の困りごと

地域・市民の困りごと（課題）

- ・ 高齢者の問題をはじめ地域の課題
がどんどん増えている
- ・ 行事や会議がたくさんあって忙しい
- ・ 役員のなり手がいない
- ・ 一人の人の負担が増えるばかり
- ・ 地域の行事の参加が少ない

など

市役所の困りごと（課題）

- ・ 人口減少により税収が減り、
今、行っている行政サービス
が出来なくなる可能性がある
- ・ 人口減少等により地域の課題
解決に向けた取組が増加して
いる
- ・ 市民の要望に応えたいが限ら
れた予算の中で対応できない
ことが多い

などなど

2 地域運営組織について

地域運営組織の活動実態とKPI

活動実態

令和3年度 総務省調査（市区町村：1,706市区町村が回答／地域運営組織：6,064団体が回答）

○**組織数**：令和3年度の組織数は全国で6,064組織あり、令和2年度（5,783組織）から281組織増加（4.9%増）し、平成28年度に比べて約2倍に増加。また、地域運営組織が形成されている市区町村は814市区町村あり、令和2年度（802市区町村）から12市区町村増加（1.5%増）。

○**組織形態**：法人格を持たない任意団体が88.3%、NPO法人が4.2%、認可地縁団体が1.8%。

○**活動拠点**：活動拠点を有する団体が88.8%、このうち約71%が公共施設を使用。

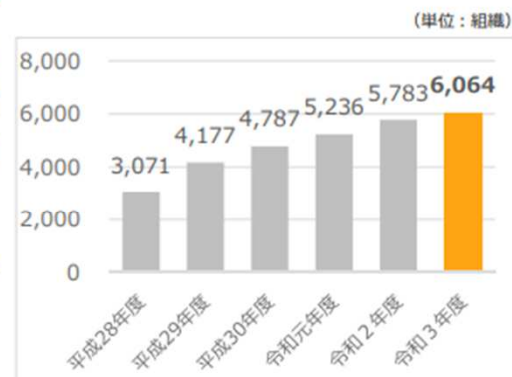
○**活動内容**（複数回答）：祭り・運動会・音楽会などの運営（43.6%）が最も多く、高齢者交流サービス（32.5%）、防災訓練・研修（30.6%）、広報紙の作成・発行（28.8%）などが続く。

○**収入**：収入源（第1位）として、市区町村からの補助金等が62.1%と最も多い。また、生活支援などの自主事業の実施等による収入（会費、補助金、寄附金等以外の収入）の確保に取り組む地域運営組織の割合は53.3%。

○**課題**（複数回答）：人材の不足に関する課題が上位4項目を占めており、いずれも5割以上。地域住民の当事者意識の不足、団体の役員・スタッフの高齢化、活動資金の不足などに関する課題としている団体も比較的多い。

○**孤独・孤立対策**

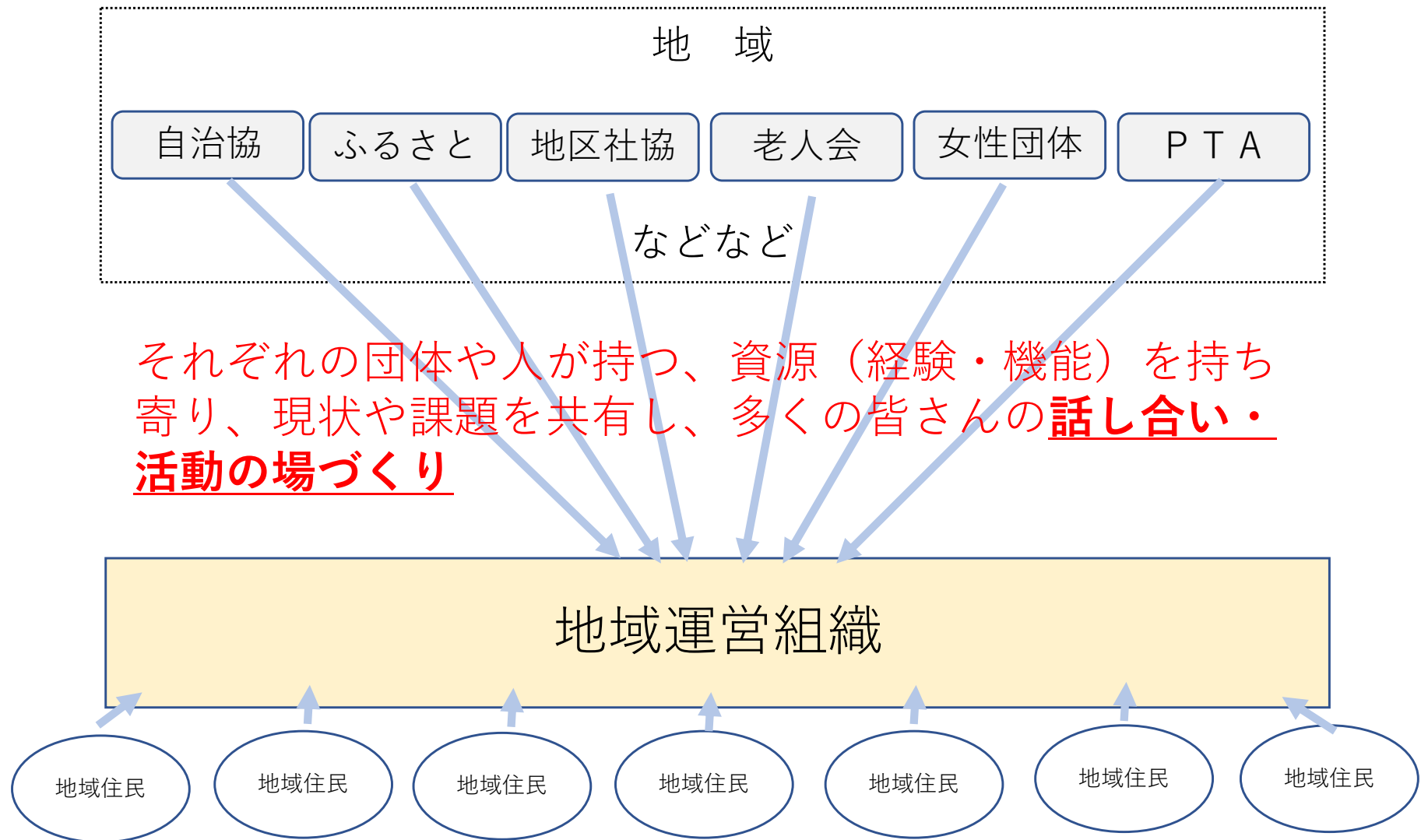
：現在の活動が「住民の孤独・孤立対策になる」と考える団体は68.6%、「ならない」と考える団体は8.9%。



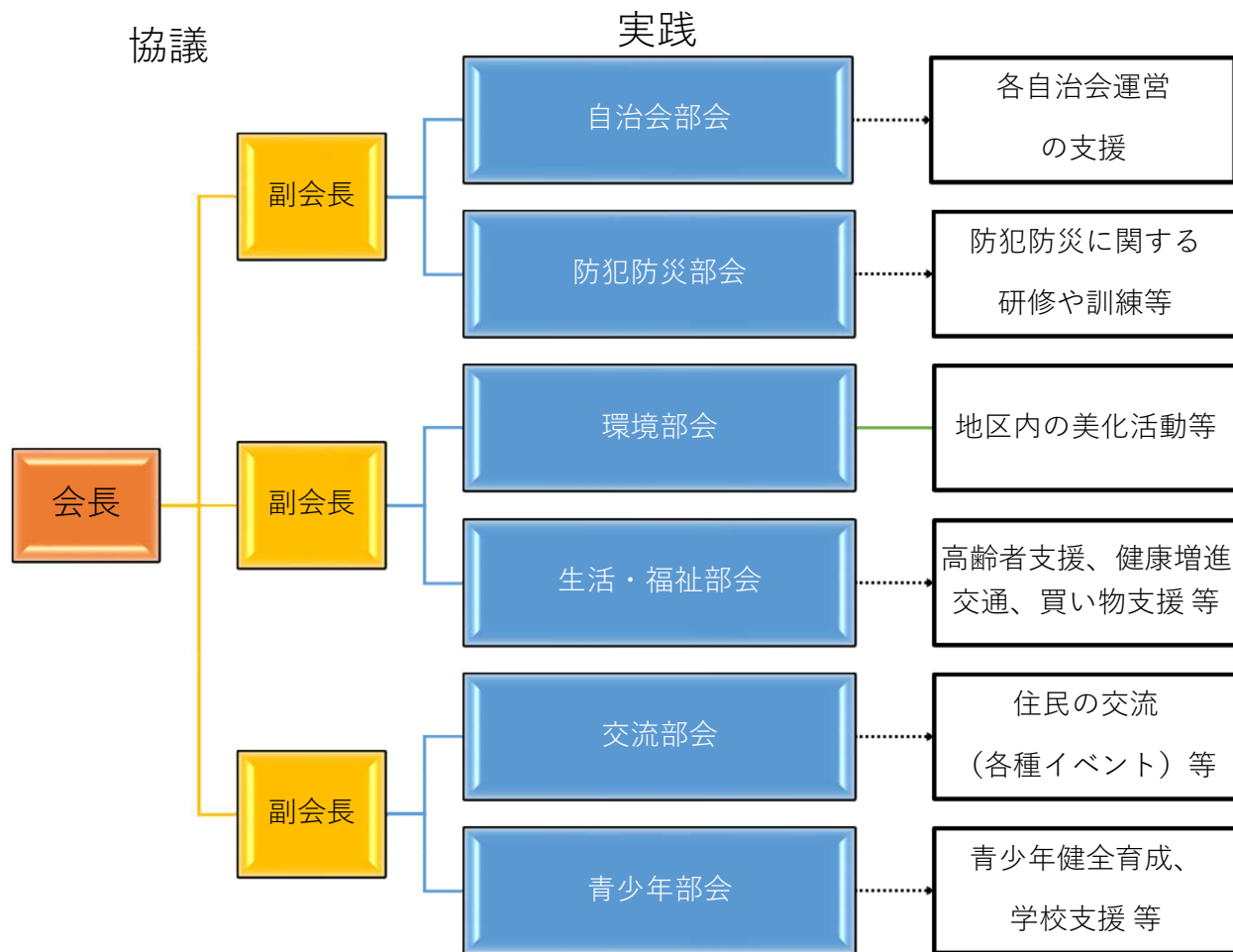
『第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」』（令和元年12月20日閣議決定）重要業績評価指標（KPI）

- 住民の活動組織（地域運営組織）の形成数：7,000団体（2024年度）
- 生活支援などの自主事業の実施等による収入の確保に取り組む地域運営組織の割合：60%（2024年度）

持続可能な地域づくりに向けて



地域運営組織形成のイメージ（一体型）



この図は、イメージです。実際の組織体系は各地区で話し合いもと、多くの方々が地域づくりに参画し、課題解決に向けた取組を実践しやすい組織体系を考えていただくことが重要です。

地域運営組織の特徴

● 地域運営組織が地域の代表的組織となることにより

- ・ 地域自らが地域の実情に合った取組ができます。
- ・ 地区と行政が協創のパートナーとなります。

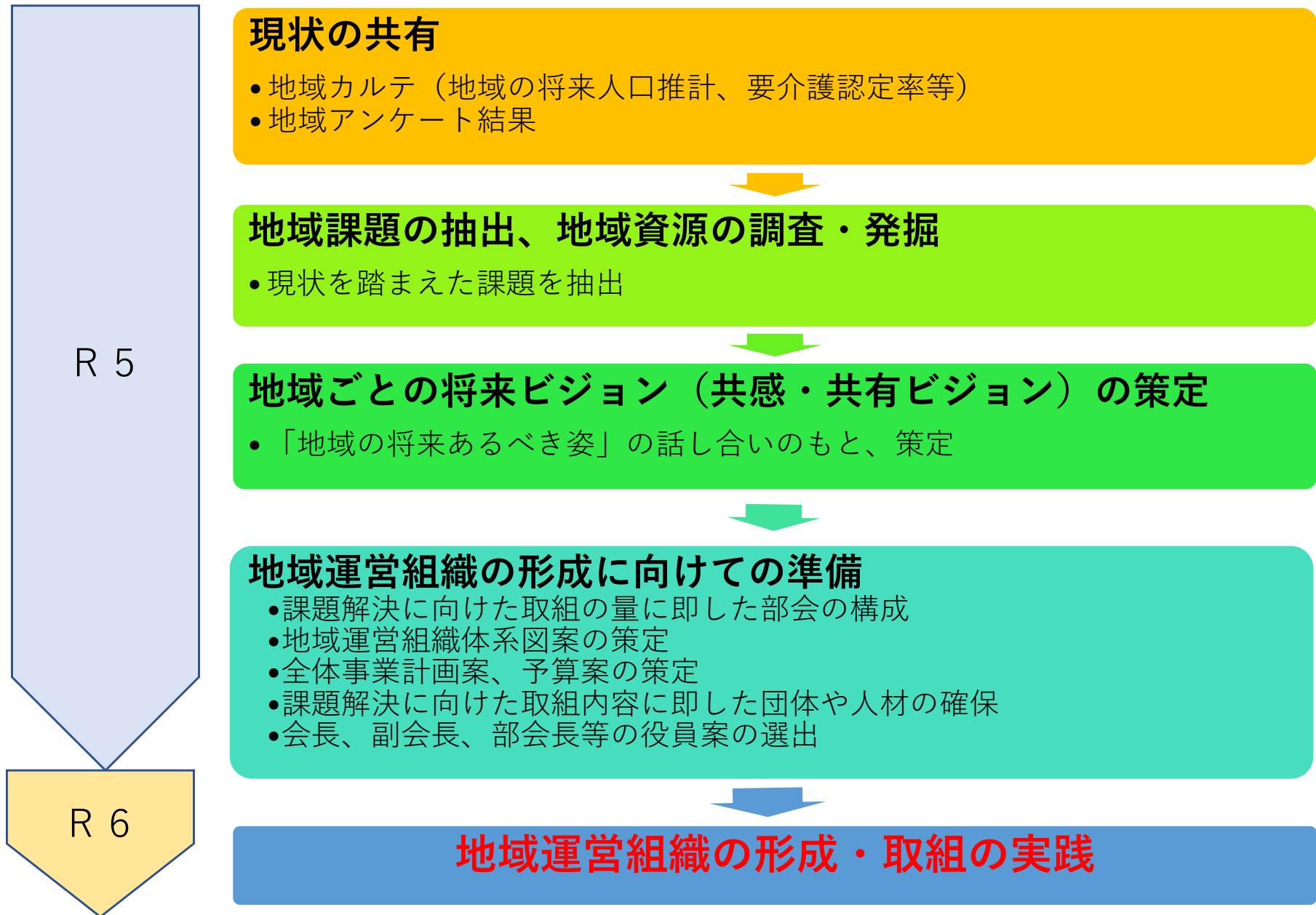
● 地域運営組織に多くの主体が参画することにより

- ・ 新たな地域の担い手の発掘や育成ができます。
- ・ 1人の方の負担が軽減されます。
- ・ 地域づくりの新たなアイデアが生まれます。

3 多くの皆さんでの話し合い (地区の皆さんへのお願い)

地域運営組織形成に向けて

- それぞれの団体や人が持つ、資源（経験・機能）を持ち寄り、多くの方々に現状・課題を地区全体で共有し、地域の目指す将来像に向けて、地区全体で取組を実践していくことが重要。（話し合いが重要）
- その話し合いの場（土台）が、地域運営組織であり、取組を実践していく手法が地域運営組織。



■ 夢プランづくり住民ワークショップ(柳井市柳北地区)



4 行政の取組

行政の動き

地域運営組織推進本部の立上

- 市長を本部長、副市長を副本部長とし、教育長、病院・水道事業管理者、各部長級で組織

地域運営組織の活動事業を検討

- 支援体制（人材、財源等）の検討
- 地域と行政が連携した事業の検討（防災、高齢者見守り等）

地域との連携

- 市から地域運営組織について説明（令和4年度末まで）
- 地域運営組織検討会（仮称）への参画

島根県雲南市海潮地区



住民の組織による認定こども園の運営や学童保育の実施。

横浜市戸塚区深谷台地域

地域の課題を発掘し、課題の共有や解決に向けた事業を実践。子育て、高齢者の支援など課題解決に向けた取組を実践。



京都府南丹市美山町鶴ヶ岡地区

地域住民で有限会社を設立し、廃止されたJA販売所を再生して店舗の経営を開始。



広島県安芸高田市川根地区

有償運送事業「かわねもやい便」をスタート。通学・通院、地区内の送迎など、3台の車両で運営。また、移動販売車も開始



■地域運営組織検討会の設置に向けた地区説明会【日程表】

※会場は各地域交流センター、時間は概ね90分を想定

	地区名	月日	曜日	時間	参加人数
1	本山	3月17日	金	18時30分～	25名 3協議会、学校関係（小・中・大）、育友会、PTA、ボラ団体、スポ少関係ほか
2	小野田	3月20日	月	18時30分～	14名 3協議会、女性会、老人クラブ、SN、民生委員、福祉員、家庭教育支援チーム、小・中PTA
3	埴生	3月22日	水	15時00分～	57名 3協議会、SN、ふれあいまちづくりの会、老人会、埴生支所ほか
4	赤崎	3月22日	水	18時30分～	60名 3協議会、民生委員、PTA、子ども会など ※見守り隊を交えて、感謝の会とセットで開催
5	高千帆	3月23日	木	18時30分～	36名 3協議会、自治会長、女性会
6	有帆	3月24日	金	18時30分～	40名 3協議会、民生委員、福祉員、小・中育友会、SN、有帆小、子ども会育成連絡協議会
7	高泊	3月28日	火	14時00分～	18名 3協議会、自治会長、民生委員、すげえちゃ・高泊、縄地ヶ鼻公園振興会、PTAなど
8	厚狭	3月28日	火	18時30分～	25名 3協議会、自治会長、民生委員、小・中PTA及び学校長、幼稚園長、婦人会、老人クラブ、子供会、青少協、第2層協議体会長、福祉員、食推、母推、人づくり・まちづくり、厚狭杜のまち、商工会、協働活動推進員、支援チーム、総合事務所長
9	出合	3月29日	水	18時30分～	43名 3協議会、自治会長、体振、民生委員、PTA、子ども会、婦人会、いちょうクラブ、食推、地域活動であい、老人クラブ、子育て支援、支えあいの会、出合小、厚狭中
10	須恵	3月30日	木	18時30分～	15名 3協議会、老人クラブ、須恵小育友会、小野田中PTA
11	厚陽	2/13（月）事前協議 → 4月自治協総会、5月ふるさと総会での説明を希望			

	組織	地域・人	行政支援	その他
一定の理解を得られた意見	<ul style="list-style-type: none"> ■まずは各団体とも自分の活動を見直すべき。その後、1つになっていく方が良い。 ■若い世代を取り込み、育てる組織と一緒に考えないといけない。 ■各組織そのまま、色々な組織を包含したような緩やかな協議会で良いのでは。 ■組織をどうするかよりは、まずは地域で話し合いをしないとダメ。その後、地区として行政にどうして欲しいかを伝えていく必要がある。 ■組織というよりは、1つの団体でできないようなことをRM0でやろうということではないか。地区で一番困ったことを皆で考えて、どうしたらいいかを話し合うことだと思う。その活動に対し、市に予算をつけてもらおうということでは。 ■RM0の話は前向きに捉え、期待している。地区で話し合っって課題を考えて、解決策を考えていきたいと思う。 ■地区社協としては、単一の団体では手に余るので、それをRM0でできないかと提案したい。 ■担い手や後継者問題から、今の組織をやりかえる必要があることは理解できる。 ■若い世代の力がなければ成り立たない。若い力を貸してほしい。会長や副会長をということではなく、どのようにすればよいかを話し合えたらよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■時間はかかるが、一つ一つ課題を解決しながら取り組んでいくことが大切。 ■行政主導では地域の発展に貢献できない。 ■今の状況から5年後、10年後には、地区の行事はどうなるのだろうと頭に浮かぶ。ぜひ多くの若い力を貸していただきたい。 ■行政の肩を持つ訳ではないが、自身も80歳を迎え、あと何年やれるか分からない。 ■各会長も歳を取っており、若返りが必要があるが、なかなかできないのが現状。 ■早く変わりたいが変われない。そうした中でRM0ができればいいのではと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■先進地の視察研修ではバス代が高かった。市マイクロバスを検討して欲しい。次回は北九州方面に行ってみたいと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■我々の地区では先進地を視察して組織形成の参考としている。今後の活動も参考としたい。 ■デマンド交通があまり活用されていない。路線の見直しなども話し合えるか。 ■バスを何とかして欲しい。
疑問に思われている意見	<ul style="list-style-type: none"> ■分離型として進めていく方法もあるが、市は一体型が良いと思っているのか。 ■今の組織を廃止して新たに作り直すのか、組織を統合して1つにするのか。 ■ふるさとづくり協議会の中には、自治協も地区社協も全部入っている。 ■同じような組織をも一つ作るということか。 ■PTAや地区社協などは統合できるのか。 ■自治会はどうなるのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域交流センターを核として、「地域のことは地域で」という考え方でよい。 ■様々な役の兼務がなくなると非常にありがたいが、現実的に難しい問題である。 ■リードしてくれる人がいないとピンとこない。 ■地域運営組織の会長を市職員にやってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■行政側は何をしてくれるのか？ ■税収減を言われているが、新しい組織への補助金はずっと継続するものなのか。 ■地域運営組織への補助金は、既存団体とは別に入ってくるという認識でよいのか。 ■集落支援員は、各地区で決めるのか、行政で決めるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ■地区と行政が協創のパートナーとはどういう意味か。 ■山陽小野田市全体の各校区が集まって、お互いに情報交換するなどの場があるか。
理解を得られなかった意見	<ul style="list-style-type: none"> ■今、各団体は別に困っていない。 ■リーダーは誰でもできる。行政は心配しなくて良い。 ■予算の取り合いなど、かえって揉め事になる。今のままで良い。 ■これだけの団体を束ねる会長に立候補する人はいないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■今までの活動そのまま、担い手不足の解決策になるか。 ■行政ができなくなったサービスを地域のボランティアで賄うという考え方か。 ■各団体とも今までの流れがあり、それぞれ活躍しているのに何故混ぜるのか。 ■10年先、20年先も会長はどんどん若返っていく。今あえて話し合う必要はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ■11校区の金の取り合いになるのでは。 ■予算配分など、各地区で差別化が進むのでは。 ■地域のことは口を出さず、行政は補助金だけ出しとれば良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域を創るフォーラムやその後の地区説明会から、何も前に進んでいない。 ■昨年行った住みやすさアンケートの結果を早急にお示しいただきたい。

- 集落支援員とは？ 集落の実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウ・知見を有した人材が、地方自治体からの委嘱を受け、市町村職員と連携し、集落への目配りとして、集落の巡回、状況把握等を行う。
- 集落支援員の役割は？
- ①集落点検の実施
 - ②集落のあり方に関する話し合いの促進
 - ③地域の実情に応じた集落の維持・活性化対策
(総務省「過疎地域等における集落対策の推進要綱」より)
- <集落の考え方>
「集落」とは、「基本的な地域単位」として、①いわゆる集落、常会、組、②行政区、町内、大字、字、③地域協議会、地域振興会、④小学校区など、地域の実情に合わせて最も適切な地域単位を設定することとされている。
- 本市における集落支援員の業務は？
- 1 地域運営組織の形成に向けた地域との話し合いの場や検討会への参加及び支援
 - 2 地域運営組織形成後の事務局機能
 - 3 地域課題の把握・分析と、課題の解決に向けた具体的方策の検討及び支援
 - 4 地域の巡回及び地域住民や団体、行政との連絡調整 など
- 集落支援員の配置は？ 各地区に1人の配置を基本とし、各地域交流センターに配置する。(計 11人配置)
配置時期は、募集から採用までの準備期間を考慮し、R5.6月からの配置を予定。

事業名	概要	予算費目	算出根拠	予算額（千円）
集落支援員設置事業	集落点検の実施、地域の話し合いの参加、地域運営組織の形成支援等を行うため集落支援員の配置を行う。 R5年度11人配置予定	報酬	報酬11人分 97,000円×10か月×11人 = 10,670,000円 (雇用条件) ・会計年度任用職員（パートタイム） ・週3日勤務 1日あたり7時間45分 ・給料 月額 97,000円（月額161,600円の週3日換算）	10,670
		職員手当等	期末手当11人分 232,800円×11人 = 2,560,800円	2,561
		共済費	社会保険料等11人分 242,204円×11人 = 2,664,244円	2,665
		旅費	通勤手当11人分 155,000円×11人 = 1,705,000円	1,706
			合計	17,602

<特別交付税措置>

- 措置額 集落支援員1人あたりの上限額：430万円
- 対象経費 ①集落支援員の設置に要する経費（人件費） ②集落の点検の実施に要する経費 ③集落における話し合いの実施に要する経費 ④地域の実情に応じた集落の維持・活性化対策に要する経費